

戦争法廃止の政府を

“提案 応援します”

東京・渋谷 3児のママも歓迎

憲法違反の戦争法（安保法制）の採決が19日未明に強行されたのをうけて、本紙は同日午後、東京・渋谷駅前でシールアンケートにとりくみました。日本共産党の志位和夫委員長が同日発表した「戦争法（安保法制）廃止の国民連合政府」実現のよひかけについても歓迎の声を寄せられました。

（原田浩一明、矢野昌弘）



「シールアンケート」に答える若者（左）東京・渋谷駅前

“ひっくり返さなきゃ”

社帰りに母親と国会前に行きました。自分より年下の人たちのSEALDs（シールズ）の活動に興味があります。学生が憲法前文の話をしたのは印象に残りました」と話し、①②ともに「NO」にシールを貼りました。

安倍さんノーに

アンケートは、①「戦争法（安保法制）進行」「成立」許せますか②「YES」「NO」③「安倍政権を支持しますか」に「YES」「NO」で問いかけてました。応じてくれた人たちのほとんどが「NO」でした。

音楽関係の専門学校に通う行野（ゆきの）亜紀さん（19）は自分からシールに手を伸ばし①の「NO」に貼り、「今週の水曜日国会前に行きました。シールの奥田愛基さんの（参院中央公聴会での）陳述をネットで見ると、その通りと聞いて、その通りと聞きました」と憤りました。

飲食業を営む牧本宏亮（まきもと・ひろあき）さん（59）は、①「強行」「安倍政権」とともに「NO」にシールを貼りました。「結局、日本はアメリカのヒモ付き。この法律で、自衛隊がアメリカの戦争の下請けにいくことになる」と話しました。

絶対に戦争反対

神戸市からきた女性（66）も「強行」「安倍政権」には「NO」のシール。「絶対に戦争反対。秘密保護法でなんでも隠されるから、安保法制がどんなふうに進んでいくかもわからない。国民の6割が反対しているのに、アメリカと約束しているからと通してしまう」と言います。

会社員の女性（26）は「東京都目黒区」は「昨夜も会

「子どもを連れて何度もプラモに行きました。私はあきらめていません。来年2月に南スーダンに派兵計画と聞いたので、そこで踏ん張りたい」と意気軒高です。

「安倍首相は早く政権を降りてほしい」という田中さんに、「戦争法廃止の国民連合政府」実現を呼びかけたと記者が説明すると、「応援します。選挙権を使って与野党をひっくり返せば、変わると思う」と語り

ました。

9/20 手稿